

■令和元年度 新治里山公園 事業報告書



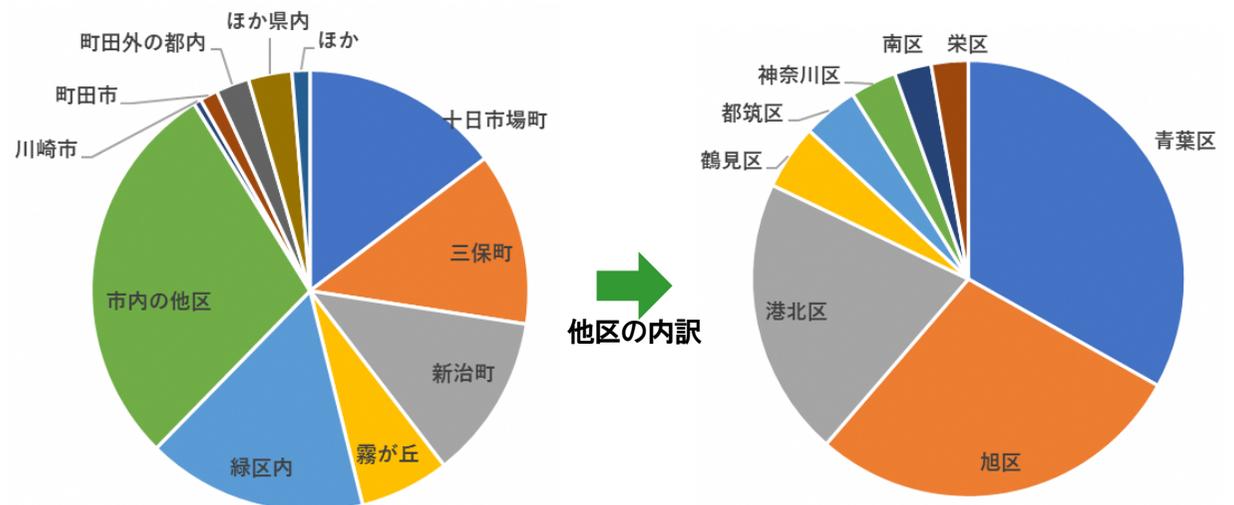
指定管理者：NPO 法人新治里山「わ」を広げる会

1. 公園の利用者数 (様式3に相当)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
旭谷戸広場総数	3,178	3,850	2,948	2,086	1,226	2,358	3,857	3,269	1,972	2,096	3,162	3,569	33,571
旧奥津邸総数	973	1,118	678	487	377	734	696	978	806	1,168	1,837	1,443	11,295
新治里山公園総数	4,151	4,968	3,626	2,573	1,603	3,092	4,553	4,247	2,778	3,264	4,999	5,012	44,866
内 訳:													
大人	2,477	2,866	1,546	1,069	846	1,609	1,792	2,043	1,440	1,572	2,664	3,416	23,340
中学生以下	656	1,191	873	575	289	598	1,865	1,025	672	616	1,117	1,353	10,830
「わ」の会イベント・部会・会議	411	169	222	165	97	173	224	196	193	652	448	38	2,988
地域関連団体活動	235	394	573	446	90	394	295	453	205	149	428	38	3,700
園内ボランティア活動	283	279	338	235	201	256	259	414	187	163	255	86	2,956
その他(来客等)	89	69	74	83	80	62	118	116	81	112	87	81	1,052
合 計(人):	4,151	4,968	3,626	2,573	1,603	3,092	4,553	4,247	2,778	3,264	4,999	5,012	44,866
他団体利用													
件数	8	13	12	5	0	9	16	5	6	6	11	5	96
人数	375	645	691	258	0	310	1,855	283	334	183	445	161	5,540

年間 30 日ほど月曜日を養生日と設定し、旧奥津邸側の入園を制限した。夏は熱中症対策の呼びかけ、3 月はコロナウイルス感染症拡大防止策が行われた。イベント等は中止となったが、一般利用が非常に多く、3 月だけで前年より 1200 人増えた。

来訪者の居住地域 については、来訪者およびイベントアンケート(529 件)によって調べている。近隣 4 町を含む「緑区内」が全体の 62%、緑区を含む「市内」は全体の 91%となった。



2. 業務の第三者委託実績 (様式4)

業務	内容	委託会社	年回数	実施月日	対応状況	支払金額
夜間及び 火災警備	建物警備(AED 含)	セコム(株) 都筑支社	通年	毎日	小動物による夜間作動対応、 機器不具合対応等	¥1,057,058
植物管理	庭木の管理指導及び 特殊樹木・高木剪定	山十四造園 <緑区内>	11回	4/23、4/25 11/1~11/29	マツ、キャラ、モチ、イヌマキ、 北山杉などの特殊樹木剪定に ついて対応。	¥358,620
設備点検	消防設備の法令点検	中山防災設備(株) <緑区内>	2回	9/3、3/3	消防設備点検	¥154,722
施設管理	屋根等高所点検	関佳工務店 <緑区内>	4回	6/5、9/20、 12/28、3/20	屋根、雨どい等を点検	¥55,000
植物管理	除草・剪定等	山惣 <南区>	通年	月6~8回	毎月、作業計画会議にも参画 し対応。	¥1,710,000
保守点検	空調保守点検	三菱電機ビルテクノサービス(株)	1回	11/6	主屋空調設備の点検	¥162,800

3. 年度修繕実績 (様式5)

年月日	点検の種別			点検の対象	点検後の処理		処理結果	報告状況 ほか	金額 (円)
	法定	定期	随時		交換等	業者			
H31.4.1			○	機械			エントランスエアコンフィルター清掃	4月度月報	
H31.4.2			○	工作物			ベンチ塗装	4月度月報	
H31.4.24			○	工作物			ベンチ塗装	4月度月報	
R1.5.1			○	植栽		山十四造園	マツのみどり摘み	5月度月報	58,320
R1.5.6			○	工作物			U字溝清掃	5月度月報	
R1.5.19			○	機械			土間エアコンフィルター清掃	5月度月報	
R1.5.28			○	備品		オートボックス	軽トラック12か月点検	5月度月報	16,222
R1.6.5		○		建物 工作物		関佳工務店	(第1回)建物高所点検準備	6月度月報	
R1.6.7			○	建物			主屋トイレ床ワックス掛け	6月度月報	

年月日	点検の種別			点検の対象	点検後の処理		処理結果	報告状況 ほか	金額 (円)
	法定	定期	随時		交換等	業者			
R1.6.17			○	工作物			戸車交換	6月度月報	
R1.6.17		○		工作物 給排水施設			第1回施設定期点検	6月度月報	
R1.7.1			○	工作物			長屋門網戸張替え	7月度月報	
R1.7.15			○	工作物	照明ランプ		主屋和室蛍光灯2本交換	7月度月報	
R1.7.15			○	工作物	戸車		主屋ガラス戸の戸車交換	7月度月報	
R1.8.14			○	工作物			主屋雨戸修理	8月度月報	
R1.8.24			○	機械			主屋土間エアコンフィルター清掃	8月度月報	
R1.8.28			○	工作物			長屋門換気扇修理	8月度月報	
R1.9.3	○			消防設備		中山防災	第1回消防設備定期点検	9月度月報	67,932
R1.9.9		○		建物 工作物			第2回施設定期点検	9月度月報	
R1.9.18			○	工作物			番線柵補修	9月度月報	
R1.9.20			○	建物 工作物		関佳工務店	第1回建物高所点検	9月度月報	
R1.10.10		○		工作物		東京電力	電灯設備、動力設備点検	10月度月報	
R1.10.7			○	防犯設備	センサー	セコム	セキュリティ装置部品交換	10月度月報	
R1.10.16			○	工作物			台風で剥離した漆喰外壁への養生処理	10月度月報	
R1.11.6		○		機械		三菱電機ビルテクノサービス	空調設備定期点検	11月度月報	162,800
R1.11.12～			○	植栽		山十四造園	マツ、モチの剪定	11月度月報	300,300
R1.11.26・29			○	工作物			公園緑地事務所と建設会社による台風で破損した漆喰外壁の調査		
R1.12.1		○		工作物			第3回施設定期点検	12月度月報	
R1.12.4			○	工作物	ランプ		庭灯ランプの交換	12月度月報	
R1.12.18			○	工作物			駐車場予定地番線柵の緩み補修	12月度月報	
R1.12.18			○	工作物	戸車		主屋縁側ガラス引き戸の戸車交換(2個)	12月度月報	
R1.12.28		○		建物		関佳工務店	(第2回)建物高所定期点検準備	12月度月報	
R2.1.13			○	工作物			坪庭の扉補修	1月度月報	
R2.1.18			○	機械			主屋土間のエアコンフィルター清掃	1月度月報	
R2.1.28			○	内装			板の間のワックス掛け	1月度月報	

年月日	点検の種別			点検の対象	点検後の処理		処理結果	報告状況ほか	金額(円)
	法定	定期	随時		交換等	業者			
R2.2.3			○	工作物			主屋雨戸補修	2月度月報	
R2.2.17			○	工作物			主屋に設置している本棚の安全対策のため改修	2月度月報	
R2.3.2			○	工作物	戸車		主屋2Fの戸車交換	3月度月報	
R2.3.3	○			消防設備		中山防災	消防設備法定点検	3月度月報	86,790
R2.3.11			○	内装	畳表替え	大岩畳店	主屋和室畳20枚表替え	3月度月報	176,000
R2.3.11			○	工作物	戸車		主屋台所戸車交換	3月度月報	
R2.3.18		○		機械	電極パッド		AED電極パッド交換	3月度月報	
R2.3.20		○		建物		関佳工務店	第2回建物高所定期点検	3月度月報	55,000

4. 年度増減備品一覧 (様式6)

今年度は該当なし

5. 苦情対応報告 (様式7) 要望・苦情件数 261 件(うち駐車場関連 223 件含む。苦情と判断したものを掲載)

No.	年月日	要望・苦情等の内容	提出された形式	処理・回答内容と対応
1	1.5.5	多目的トイレにお湯は出ないのか？ (介護の際、お湯を使いたい)	口頭	設備があるのに湯が出ないことを横浜市に要望中と回答、蛇口に「お湯は出ません」と掲示。
2 3 4	5月2件 9月1件	駅からの案内板があることがわからなかった。迷ってしまった。(案内がわかりにくい)	口頭	平成27年の設置(緑区との協議)以来、「わかりやすかった」「わかりにくかった」の両方の意見がある。「わかりにくい」との意見は高齢者がほとんど。駅前交番に地図を置いてもらっているが、再検討の予定。
5	1.5.18	ホームページに「生きもの調べ」がアップされていなかった。	アンケート	共催イベントがおちてしまった。今後は二重の点検を心がける。
6	1.7.10	小学校低学年の子どもから「自転車をとめるところがわからない」。→駐輪場の字が読めなかった。	口頭	「自転車・バイク置き場」とし、ルビをふった。
7	1.12.22	「よこはまウォーキングアプリ」のウォーキングコースで交流センターに来たが、ポイントが検索できない	口頭	アプリを確認したがわからなかったので、平日に事務局に問い合わせます、と返答。ポイントの位置設定を事務所前の道路に変更してもらった。

6. 事故対応報告 (様式7)

No.	年月日	内容及び被害	対応結果
1	R1. 5.30	旧奥津邸前庭キャラボクの一部がハダニによる枯死	シンボルとなっている植栽につき、殺ダニ剤を散布する
2	R1. 9.10	台風15号による桜、ムクロジの倒木	当初抜根を検討、後にお越し支柱による補強を施す
3	R1.10.13	台風19号による長屋門漆喰外壁が破損	室内への雨漏りを防ぐため、防水シートを施工
4	R2. 2.3	多目的トイレ非常ボタンモニター不具合	配電盤内のHUBを交換
5	R2. 2.16	主屋の勝手口雨漏り	風で破損した長屋門、土蔵、主屋の漆喰補修するも、主屋の雨漏りは改善認められず

7. 市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進 (様式8)

1) 自主事業を含めた提案事業の方向性と狙いのまとめ

「人と人の和」「地域の輪」「自然の環」を育むことを理念とし、多くの市民とともに「里山がそばにある暮らし」を楽しむ、伝える事業をすすめている。10年以上続いている当会ボランティアによる活動だけではなく、新治里山秋まつりを盛り上げる参加団体や、「わつなぎパーク」と称してつながった十日市場地区施設、NPO等との顔が見える関係づくりを一歩ずつすすめていくことができた。様式 11 参照。

2) 市民サービス向上取組の考え方

まずは、いつもきれいであることを基本として、「おもてなしの気持ち」を持って来訪者の方々と接している。旧奥津邸のことや、市民の森等の情報についてはスタッフが紹介することができる。また、近所の保育園や幼稚園の子どもたちが来るとお出迎えやお見送りをしたり、デイサービスの一環で訪れる高齢者施設には車の乗降を安全にできるようエントランスを利用してもらうなど、「地域の縁側」の役割を心がけている。



新治里山秋まつり

3) 利用促進の取組、利用者支援等の取組について

多くの自主事業のほか、「わつなぎパーク」事業として他団体との連携をすすめた。新たな取り組みによって公園の魅力の開拓にもつながっている。

20人を超える団体には、施設利用申請をしていただくことにより、団体がどのように利用したいか把握し、団体が重なってもすみ分けをしてもらうなどの調整を事前に行っている。

4) 広報やパブリシティー取組の考え方

「新治里山ごよみ」は近隣地域中心に7500部、5回発行。こよみの発行から1週間ほど後に、HPでイベント情報の更新を行っている。そのほか、日常を紹介するつれづれ日誌(HP内)、facebookで発信。各種イベントは掲示板と持ち帰り用チラシを作成している。そのほかタウンニュース、横浜市広報「ホット横浜」「ぎゅっとヨコハマ」にも取り上げられた。

5) 利用者ニーズ把握取組の考え方

気軽にアンケートを書いてもらえるよう、ひと休みする場所に設置したことで240件を超えた。イベント時にもアンケートを行っている。また、来訪者との会話の中から直接聞き取ることも心がけている。

6) 公園管理上、指定管理者が課題ととらえている事項とその改善策案

《駐車場はないんですか?》年間200件を超える問い合わせ・要望が寄せられている。わずかな駐車スペースはあるものの過去の地元要望(安全対策等)により開放されていない。隣接した公園予定地とあわせた駐車場計画について横浜市との協議が必要と考えている。

《新型コロナウイルス感染症対策》当公園では多くのイベント、市民ボランティア、細やかな来訪者対応を行ってきたが、2月下旬から始まった「対応策」によって、これまでの方法が成り立たなくなる可能性がある。今後、理念を守りつつどのような活動が展開できるのか考えていきたい。



緑区制50周年記念イベント
森を歩こう絵を描こう! 段ボールアート



里庭の手入れ〜アジサイ

8. 収支予算書 (様式9)

(円)

収入の部	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	25,976,520	431,806	26,216,518	26,216,518	0	10月より消費税増額分240518円、台風による倒木処理作業費191808円、予算額修正-520円
利用料金収入						
自主事業収入	870,000		870,000	746,280	123,720	
雑入						
その他雑入						
収入合計	26,846,520	431,806	27,086,518	26,962,798	123,720	

支出の部	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	17,113,000		17,113,000	16,846,342	266,658	
給与・賃金	15,600,000		15,600,000	15,280,983	319,017	常勤1.5人、非常勤3人、パート7人
社会保険料	800,000		800,000	830,605	-30,605	労災・雇用保険含む
通勤手当	680,000		680,000	716,110	-36,110	13人分
健康診断費	33,000		33,000	18,644	14,356	1人分
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
事務費	1,966,400		1,966,400	1,581,108	385,292	
旅費	20,000		20,000	15,660	4,340	出張旅費(研修交通費含)
消耗品費	600,000		600,000	188,579	411,421	コピー紙ほか事務用品
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	80,000		80,000	23,000	57,000	リソグラフほか
使用料及び賃借料						
(横浜市への支払い分)	86,400		86,400	87,204	-804	駐車場2台分
(その他)						
備品購入費	0		0	219,024	-219,024	パソコン2台
図書購入費	0		0	0	0	
施設責任賠償保険	350,000		350,000	352,270	-2,270	火災保険等
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	60,000		60,000	60,585	-585	給与振込
リース料	180,000		180,000	11,700	168,300	コピー複合機
手数料	570,000		570,000	603,086	-33,086	会計事務所
地域協力費	20,000		20,000	20,000	0	
自主事業費	800,000		800,000	746,000	54,000	
管理費総合計	7,548,000		7,548,000	7,817,090	-269,090	
・光熱水費合計	1,865,000		1,865,000	1,847,169	17,831	
光熱水費(電気)	1,530,000		1,530,000	1,475,995	54,005	
光熱水費(ガス)	50,000		50,000	82,184	-32,184	自主事業費で負担
光熱水費(水道)	270,000		270,000	260,090	9,910	
光熱水費(下水道)	15,000		15,000	28,900	-13,900	
・清掃費	120,000		120,000	55,000	65,000	高所(窓・雨どい)
・修繕費	300,000		300,000	200,246	99,754	小破修繕(雨戸ほか)
・機械警備費	1,005,000		1,005,000	1,057,058	-52,058	機械警備委託(セコム)
・施設保全費	3,063,000		3,063,000	3,284,782	-221,782	
空調衛生設備保守	160,000		160,000	162,800	-2,800	空調設備保守委託
消防設備保守	153,000		153,000	154,722	-1,722	消防設備保守委託
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
その他保全費・園地管理費	2,750,000		2,750,000	2,967,260	-217,260	トレパ等消耗品、ゴミ回収、植物管理・置替え等
・共益費(合築等の場合)						
・公租公課	975,000		975,000	1,065,915	-90,915	他収入と按分
公租公課(事業所税)	0		0	0	0	
公租公課(消費税)	960,000		960,000	1,065,315	-105,315	
公租公課(印紙税)	15,000		15,000	600	14,400	
その他公租公課	0		0	0	0	
・事務経費	180,000		180,000	249,931	-69,931	
事務経費(本部分)	0		0	0	0	
事務経費(当該施設分)	180,000		180,000	249,931	-69,931	通信運搬費(電話・インターネット回線・切手等)
・その他経費(当該公園分)	40,000		40,000	56,989	-16,989	福利厚生費(制服・お茶代等)
支出合計	27,427,400		27,427,400	26,990,540	436,860	
差引	-580,880		-340,882	-27,742	-313,140	NPO会費、繰越金等で負担

(参考) 指定管理料外の経費

設置管理許可収入合計	80,000		80,000	85,917	-5,917	自販機1台
設置管理許可支出合計	34,128		34,128	35,328	-1,200	5年間一括払い44,640円を換算すると8,928円、電気代26,400円
差引	45,872		45,872	50,589	-4,717	

9. 運営目標・実績報告 (様式 10)

目標設定の視点	当初設定した運営目標	当初設定した目指す管理指数・数値	実績	目標との差異	今後の取組(改善計画)
業務運営1 (達成目標、運営業務の実施方針)	事業計画書様式2-2参照	事業計画書様式2-2参照	管理運営方針および運営業務の実施方針について「めざす効果」を設定しすすめることができた	中長期管理計画、サイン計画の策定に手が及ばなかった。	令和2年度に取り組みたい。
業務運営2 (利用者サービスの向上、利用者満足度や利用者数の増、利用しやすさ向上)	①新治里山公園運営プロジェクトの推進	新入会員 5%増、新たなプログラム2つ増。	会員 3人増、新プログラム4つ(お琴体験・里山ヨガ・庭木の手入れ・田んぼ体験)	会員は5%増にはならなかったが、新プログラムは目標を超えた。	コロナウィルス感染症防止対策により見直しが必要。
	②わつなぎシステム稼働	・オープンサロン開催 ・新たな連携イベント2回	・1/31実施 ・4回実施	みどりアートパーク等とのイベントも実施できた。	コロナウィルス感染症防止対策により、連携の仕方に見直しが必要。
	③一般来訪者アンケートに注力	毎月10人	一般来訪者:280件 (有効:243件) イベント参加:249件 (有効:207件)	大幅に目標達成。	コロナウィルス感染症防止対策により、アンケートの取り方にも見直しが必要。
	④園内サイン計画策定	野外の利用案内板設置。来訪者が自発的に利用ルールを守れるようにする。	養生日や施設の公開中止に伴って随時設置。	総合的なサイン計画策定に至らず。	令和2年度に取り組みたい。
業務運営3 (人員配置、緊急時対応計画、防犯防災、災害対応)	①適材適所且つ補完し合える人員配置	1日の最低人数4人、園地管理等週2日実施。	適切な人員配置で実行できた。	なし	継続する。
	②緊急時・災害対応が速やかにできるよう訓練を実施	年3回訓練 地元消防団との定期的な消防訓練の定着化	7/7 救急救命研修、消防放水訓練、10/6 緊急時対応手順訓練(机上)、1/5 緊急時対応手順訓練(実技)	年間3回の緊急時訓練が計画通り実施できた。	令和2年度は2回とするが1回の内容を充実させ、緊急時訓練を繰り返すことで体得できるよう今後も取り組む。

	当初設定した運営目標	当初設定した目指す管理指数・数値	実績	目標との差異	今後の取組(改善計画)
	③地域の学校・消防署・警察等との連携	速やかに情報交換が行われること。	救急救命訓練、消防放水訓練に際し消防署・地元消防団の協力により実施。	緑消防署、警察とも連携を取り、事故・防犯に取り組んできた。	更に地域、消防署、警察と連携強化を図る。
人材育成(研修実施効果等)	常に公園のビジョン・ミッションを意識し、管理運営方針に基いた行動をできるようにする。	・月1回以上の研修または訓練を実施。 ・事故や対応のクレームがないこと。	・毎月1回の全員研修・訓練を実施。 ・人為的事故、接遇に関する苦情はなし。	研修の内容については様式13参照。	新しい内容も取り入れながらすすめる。
維持管理1(施設の保守管理、補修計画)	①維持管理計画に基づき、日常管理、施設点検を行い、管理作業計画に盛り込む。	作業計画会議の毎月開催	毎月1回、園内の管理状況に基づき作業の優先順位を確定し計画に盛り込んだ。	月毎に見ると多少の遅れもあるが、年間でみると計画通り推進された。	管理作業要員の不足に対する取り組みを検討。
	②旧奥津邸建物群に養生日を設定し、効率的な作業を行う。	施設管理作業の効率化と経費削減	年間30日の養生日を設け、旧奥津邸エリアを中心とした作業を行った。	非常に効率的に作業をすすめることができた。	次年度も養生日を有効に活用し、来訪者の安全を確保する。
	③中長期管理計画の見直しと確認を行う。	中長期管理計画策定	北部公園緑地事務所所有の長期保全更新計画書を入力。	修繕委員会が開催できず未策定。	当会所有の資料との整合性の確認を含め策定に注力。
維持管理2(清掃、園地維持管理、災害対応)	①隣接地や来訪者へ迷惑にならない心配りを徹底。	・大雪、台風等の前後に直ちに巡回、危険がないよう対応。通行者が安心して階段を上ることができる。	台風15号、19号の到来を受け、一過後のパトロール、応急処置の施工等を実施した。	常に隣近所の付き合いを意識して維持管理に傾注した。	次年度も今年度同様の心配りを徹底する。
	②旧奥津邸らしいたたずまいの維持と演出。	「いつもきれい、ほっとする」と言われる。	開館業務者を中心に旧奥津邸エリアの清掃、除草を実施、来訪者から好感を得る。	第4四半期は新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため室内への入場を制限するも来訪者が多かった。	次年度も来訪者の期待に沿えるよう維持・演出する。

	当初設定した運営目標	当初設定した目指す管理指数・数値	実績	目標との差異	今後の取組(改善計画)
	③周辺地域への生物多様性保全の配慮。	ゲンジボタルやカワセミが園内で見られる。 オオキンケイギク、アメリカセンダングサ等を駆除。	南側水路ではゲンジボタルが発生、アメリカセンダングサの駆除等によりツリフネソウが増加。 遊水池では毎日カワセミがいる。	川や森に近いところで優先的に注力していることが功を奏した。	雑草の機械刈りは、地刈り、草丈を上げる等の手法を駆使し生物への配慮を欠かさないようにする。
収支 (修繕等、収入、支出)	指定管理分、自主事業分、ほか事業との混同がないよう適正な会計管理を行う。	収支実績簿により四半期ごとに確認できる。	四半期ごとに収支を照らし合わせ、適切に管理できた	なし	次年度も同様に取り組む。
経費節減策	ゴミルート回収の工数削減。 養生日設定による人員配置の合理化。 備品管理の徹底。	最低賃金上昇に伴う人件費の5年前との比較赤字額50%減少。	ゴミルート回収の工数削減、養生日の導入、備品管理を徹底し、さらに人工数等を削減したことにより、大幅な赤字を免れた。	儉約が過剰徹底気味。	次年度も同様にすすめるが、足りないところに適切に投入できるよう調整する。

10. 自主事業実施報告 (様式 11)

【無料】					
事業名	内容(募集人数等)	回数・日にち	参加者数	ホラ数	詳細
地域交流事業	十日市場中学校吹奏楽部の演奏会(250人)	4/27	276		演奏者含む
	新治里山秋まつり(450人)	11/17	702	155	外部12団体参加
	どんど焼き(300人)	1/14	214	17	
オープンガーデン	ハーブ畑・栗林の開放(1回平均5人程度)	45	73	197	毎週1回、3月中止
施設活用・里山文化	むかしなつかしあそび(50人)	2/15	44	10	
	お琴の演奏会、おはなし会、手仕事サロンなど(各平均10人)	26	204	139	第1土:お琴の調べ 第3土:おはなし会 第3水:手仕事サロン 3月各会中止
施設管理ボランティア	園内美化・除草(延べ10人/月)、 ハーブ畑手入れ(延べ10人/月)、 すす払い(20人)	66		142	ハーブ畑手入れ、園内美化活動
		12/14	2	2	
季節展示・企画展示	正月飾り、ひなまつり、七夕、竹細工展示	4/18~5/14 7/3~7 8/11~16 9/26~10/10 12/19~1/14 1/23~3/24 2/21~2/27 1/16~3/31			五月飾り(こいのぼり等) 七夕飾り お盆飾り 緑区制50周年わらアート馬展示 正月飾り つるし雛 染物博物館 わら細工で時代を見る
里山ごよみ発行	広報紙7500部発行	5			7500部×5回、3月発行中止
わつなぎオープンサロン	公園運営を考える周辺組織との情報交換会	1/31	8		フラットガーデン・レモンの庭にて

【イベント参加者アンケート】 249件(有効:207件)

26プログラムでアンケートを行った。

「楽しかった」と高評価、時間配分で「やや短かった・短かった」と感じたことも、イベント運営者にとってはうれしいことである。「また参加したい」という感想も多い。

楽しかった?

■ 楽しかった ■ ほぼ良かった ■ まあまあ ■ つまらなかった



時間配分は

■ 時間は短かった ■ やや短かった ■ やや長かった ■ 時間は長すぎた

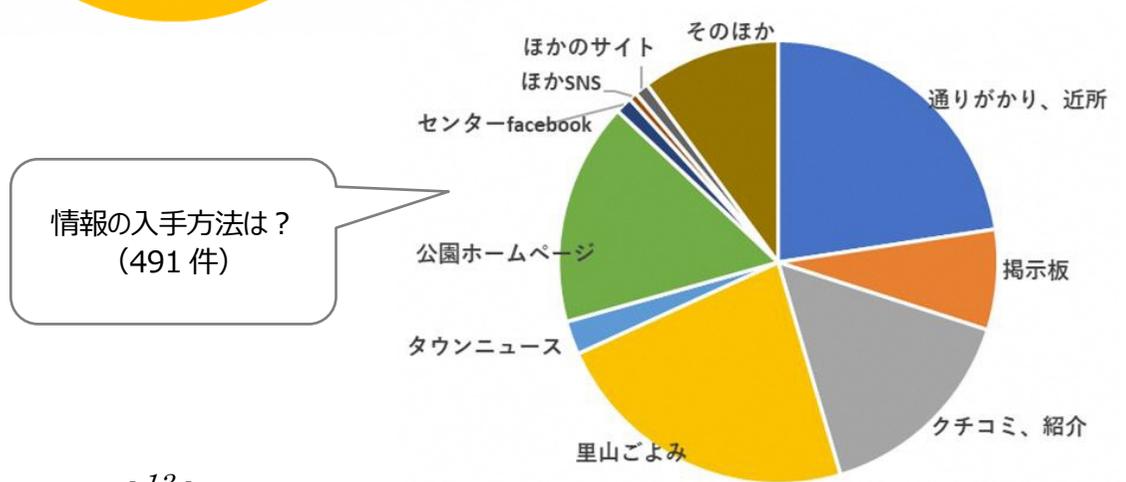
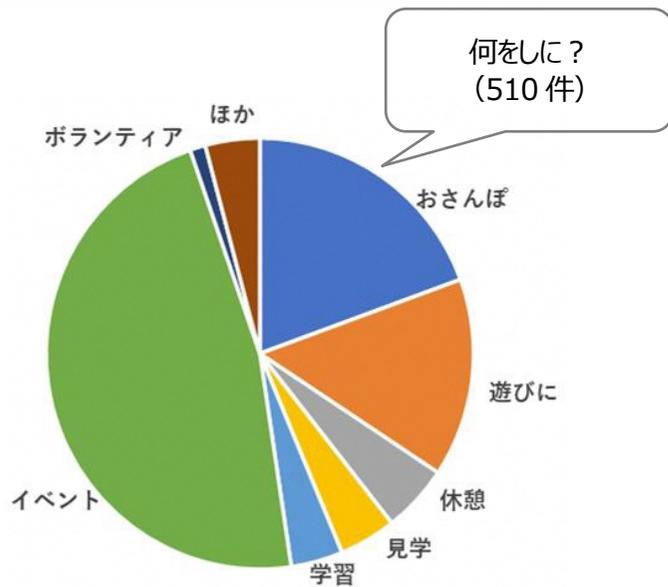
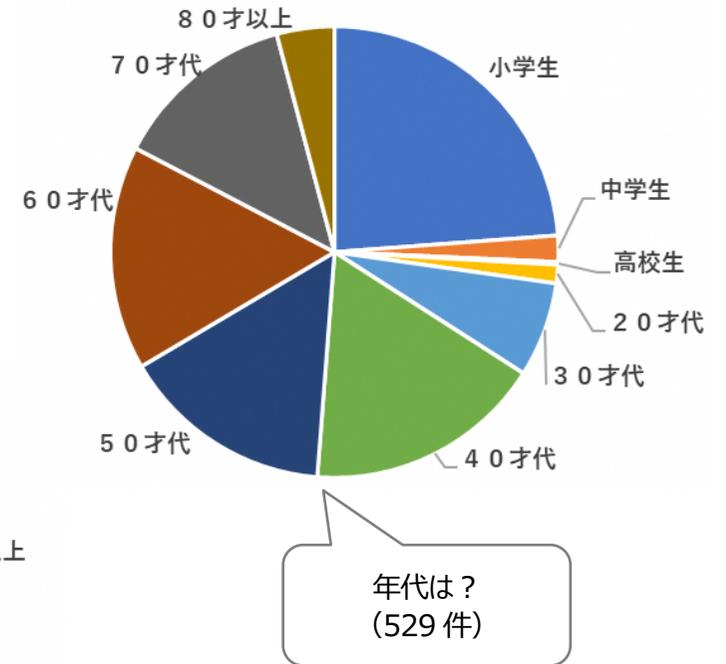
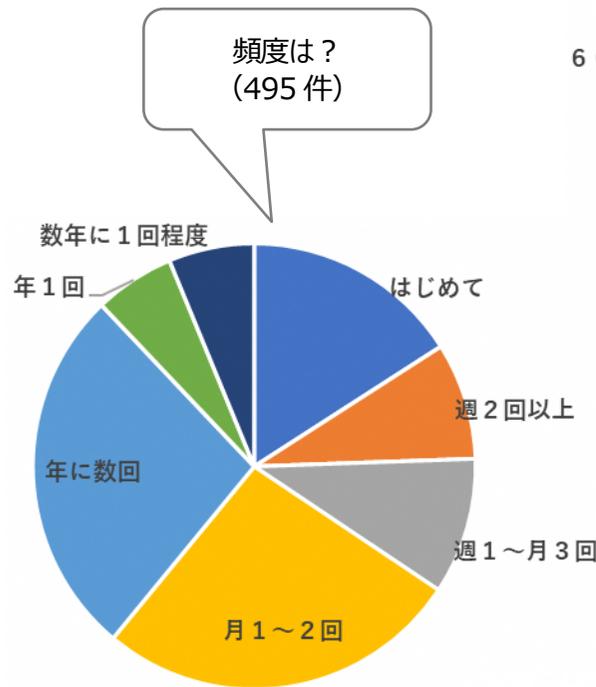
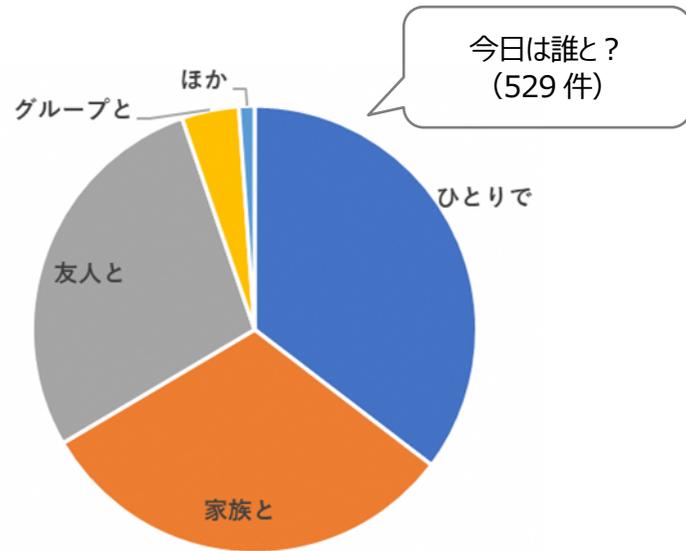


【有料】						
事業名	内容(募集人数・一人当たりの参加費)	回数・日にち	参加者数	ホラ数	備考	
ハーブに関する事業 (ラベンダー)	ラベンダーの花穂を使ったスティック作りの講習会(延べ60人、@500円)	16	64	46	6/19~7/7	
ハーブに関する事業 (その他)	講師による料理、染色クラフトの講座(延べ50人・@1500円)	12	92	28	キッチンハーブ、カモミール染め、ハーブ苔玉、藍の生葉染め、栗渋皮煮、葛のリース、香りびなど	
里山文化に関する事業 (単発)	ヨモギ使った草だんご、かしわ餅作り、干し柿、竹細工など(延べ70人、@1500円)、どんど焼きだんご(80人@200円)	9	159	52	かしわ餅、竹細工2回、里山ヨガ、正月飾りづくり、どんど焼きだんご、布で干支をつくる	
里山文化に関する事業 (連続)	竹とんぼづくり(100~300円)、竹かごづくり講座(3000円/年)など延べ70人	27	222	57	竹とんぼ10回、竹かご8回、お琴体験5回、田んぼ体験2回	
自然観察に関する事業	旬の里山探訪:市民の森の自然観察(1回15人・@200円)	9	145	76	3月中止	
地域作業所、ボランティアの物品頒布	作業所のクッキー、市民の森竹炭、竹細工、布小物、ハーブポプリ等の物品頒布(カウンター及び11月の秋まつり)	随時				
にいほる長屋門朝市	地元農業活性化への協力(新治恵みの里事業)	42	1685	42	毎週土曜日(端境期除く)	
わつなぎシステム事業	・ボーイスカウト横浜125団による自然体験(20人)	9/29	23		ボーイスカウト 38名	
※他団体との協力事業については、当会所属のボランティアがいない場合はカウントしていません。	・青少年みどり遊楽舎による自然素材の子ども向け工作(15人)	6/29、9/28 12/21	45		間伐材でうなり木づくり、輪ゴムてっぽう、くるくるネズミづくり	
	・十日市場地域ケアプラザ、里山会との元気づくりステーション(高齢者健康づくり)の運営(25人)	22	552			
	・753プロジェクトとのしょうゆ絞り見学会(30人)	2/5~7	87		3日間のしょうゆ絞り199人	
	・NPO森ノオトとの100人のひとしづく~味噌づくり	2/22	72			
	・(一社)フラットガーデンとの森を描くダンボールアート(100人)	6/8	111	5	緑区50周年記念イベント	
	・そのほか提案を受け公園の設置目的に合致した事業		6/18	19		梅田川の生きもの調べ(梅田川を楽しむ会)
			9/22、23 9/28	40 15		森づくりファシリテーション研修(NORA) 森の音楽隊(みどりアートパーク)
		10/20、25	22		森づくりの安全技術研修(モリダス)	

1.1. 利用者アンケート結果

一般来訪者 : 280 件(有効:243 件)
 イベント参加者:249 件(有効:207 件)

※有効はすべての項目に記載があったものですが、
 各項目別の集計ではその限りとしていません。



■建物や外まわりのお手入れ状況について

建物内外の清潔さ (456件)



- ・実家に帰ってきた気がした。
- ・建物の保存状態がよく、心が落ち着く。

園内の植物の管理状態 (455件)



- ・庭木の手入れがきれい。
- ・よく手入れされていて大変だろうと思う。

安全性、安心感 (450件)



- ・田舎にきたみたいでほっとする。
- ・立ち入れないところが多い。

■スタッフの接し方や掲示物について

スタッフの接し方 (452件)



- ・親しみやすい、やさしい。
- ・いろいろ教えてもらった。

掲示物や案内板など (452件)



- ・案内板はわかりやすい／わかりにくい。
- ・NO ENGLISH

■全体をとおしての総合満足度 (450件)



- ・いつまでも残したい場所。
- ・のんびりと過ごすことができる。
- ・イベントを楽しみにしている。

1 2. 研修実施報告 (様式 13)

	実施日	研修名	参加者	内容及び効果
1	4/7	定例:全体業務および開館業務の確認	全員	今年度の業務について説明、昨年度との違いを知る。開館業務の詳細について情報共有を図った。
2	5/5	定例:新治市民の森を歩く、知る(公園運営 PJ 合同)	全員、 ボランティア有志	森をよく知る自然観察部会(ボランティア)にスタッフが案内してもらった。来訪者との会話に活かすことができる。
3	6/2	定例:利活用から見た管理ガイドライン(主屋周辺・広場)	全員	エリアごとの日常管理について、特性と指標に照らし合わせて作業の確認を行った。
4	7/7	定例:救命救急および消火器等訓練(講師:地元消防団)	全員	地元消防団を講師に迎え、AED や消火器の使い方を訓練した。
5	8/4	定例:地域ケアプラザの仕事 (講師:十日市場地域ケアプラザ)	全員	連携している十日市場ケアプラザの仕事を伺った。包括支援と地域交流の2つの事業で動いていることが理解できた。
6	9/1	定例:SDGs について学ぶ (講師:環境パートナーシップオフィス)	全員	SDGs って何? レクチャーを受けたあとに、当会の活動がどれに当たるのかグループに分かれて意見交換。
7	10/6	定例:自然災害および緊急時の対応手順について	全員	いくつかの想定事例をもとに、どんな対応が必要になるのか机上でのワークショップ。
8	11/3	定例:秋まつりのための拡大ミーティング	全員、 ボランティア有志	外部団体の紹介および当日を円滑にすすめるため職員全員で参加した。
9	12/1	定例:施設の定期点検	全員	年に一度、全員で行うことにより、日常巡視点検に活かす。
10	R2.1/5	定例:緊急時の対応訓練(トイレ呼び出し、救急、火災等)	全員	10月の想定事例をもとに、実際に訓練として実施。全員が何らかの役割をやってみた。
11	R2.2/2	定例:ボランティアとともに次年度自主事業計画	全員、 ボランティア有志	次年度活動計画づくりに全員で参加し、自主事業の把握に努めた。
12	R2.3/1	定例:今年のふりかえりと業務提案	全員	今年度をふりかえり印象に残ったこと、次年度にむけての改善事項等を意見交換。
13	4/9	個人情報保護研修	5名	イベント受付等にかかわるメンバーで実施
14	6/26	公民連携セミナー(公園緑地管理課)	3名	公民連携による公園管理の事例を知る。
15	6~7月	発信力UP講座(5回連続、NPO 法人森ノオト)	1名	HPやSNSによる発信力を高めるための知識を得る
16	11/24	刈払機取扱作業安全衛生教育	6名	職員およびボランティアが参加
17	12/12	指定管理者研修(政策局共創推進課)	1名	障害者差別解消法を踏まえた対応、ウェブアクセシビリティなど